

第10回 動物のお医者さんと考える生き物教室

令和4年度 子どもゆめ基金「子どもの体験活動助成」

番町市民活動センター
会議室 9:30

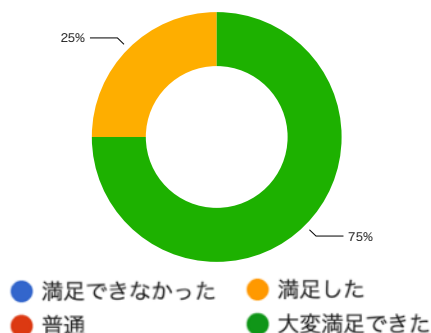
2023/3/12 (Sun)

- 小学3年生 1名
- 小学4年生 2名
- 小学5年生 2名
- 小学6年生 3名
- 中学1年生 2名
- 中学2年生 2名
- 親の同伴者有り
- 合計 子ども12名参加

2023/3/19 (Sun)

- 小学3年生 2名
- 小学4年生 1名
- 小学5年生 4名
- 小学6年生 2名
- 中学1年生 1名
- 親の同伴者有り
- 合計 子ども10名参加

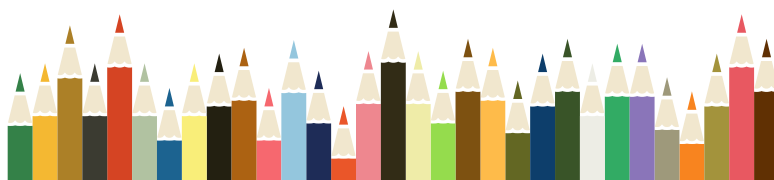
講座の満足度アンケート (16件)



生活環境に適した消化の仕組みを学び、 命を頂くことで繋がる「命の大切さ」を考えた

これまでの生き物教室で「心臓」や「呼吸器」について体験し、生き物が生きていくために必要な精巧なシステムについて学んできました。生き物は生きていくために、多くの時間を「食事」に使い、それぞれに特徴的な進化を遂げています。今回は、食べ物を食べて、消化し、栄養を吸収する「胃腸管」のメカニズムについて学びました。

生き物は、色々な命を糧にして、次の世代に自分の命を繋いでいきます。植物を食べる草食動物、草食動物を食べる肉食動物、動物の死骸や糞は土壌微生物などの力により、植物の栄養になっています。この命の繋がり「食物連鎖」を可能にするのは、生活環境に合わせた食事に対する工夫と「口から肛門までの胃腸管」の進化です。動物の口や鳥のクチバシを見るだけでも、それぞれの動物が食事に適した体の形に進化してきた事がよく分かりますね。





食物連鎖？肉食？草食？



牛の4つの胃や腸管を体験したね



何の動物のうんちでしょう？



どんなご飯を食べるのかな？



動物の頭の骨の特徴は？

始めに、食べ物は、入口の「口」で歯、舌、唾液で細かくされ、「胃・十二指腸」の消化液で消化され、小腸の絨毛や大腸で栄養や水分が吸収されるメカニズムをデジタルデバイスを用いて学びました。

どの動物が、草食？雑食？肉食？なのかみんなで考えてみました。草食動物は、食事時間も長いし、大量の草を食べ、大量の糞が出て、食事効率はあまり良くなかったね。小動物は、体の割に食事量が多く、ずっと食べてないとエネルギーが枯渇してしまうね。色々な動物のうんちを当てるクイズも、みんな真剣に取り組んでくれました。肉食動物のうんちは猛烈に臭かったね。鳥やトカゲのうんちについてる白い物は何だったかな？ウサギのうんちは硬かった？視覚、嗅覚、触覚を使ってしっかり体験できました。

ニワトリは穀物を食べ、「そのう」にためて、筋胃のグリットですり潰していたね。ウサギは消化の悪い草を微生物の力を借りて盲腸で発酵させ、盲腸便を肛門から食べることが分かったね。反芻動物であるウシの胃は4つもあったね。微生物を溜めて発酵する第1胃、蜂の巣のような第2胃、ビラビラした第3胃、ヒトの胃に近い第4胃。小腸と大腸の内側、腸粘膜はヌメヌメしてたね。ブタの胃は一つ。ウシの第4胃と似ていたね。実際に触って、子供だけでなく親御さんも興味津々。ウシとウマは草の食べ方も体つきも似てるけど、歯の場所や胃腸管の構造は全然違うことも、頭骨などを触りながら体験できたね。

盛り沢山で時間が足りないけど、今後顕微鏡を使って、胃腸管の美しい構造も観察できたら良いなと思ってます。

